

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3年度

市町村名	狭山市					
提案事業名	“オール狭山”で東京2020大会の機運再醸成及びレガシー創出事業					
事業期間	令和2年度 ～ 令和2年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 狭山市オリンピック準備室公式ツイッター発信における令和2年度の総インプレッション（ユーザーがツイッターでツイートを見た合計回数）					
	(成果検証の具体的な方法) 狭山市オリンピック準備室公式ツイッター発信における令和2年度の総インプレッションをカウントする					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	C
	従前値 (R2年5月時点)	R1年度実績 361,052回	目標値 (R3年3月時点)	500,000回	実績値 (R3年3月時点)	124,972
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		市公式ホームページ等で公表する。				

## 【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 東京2020大会機運再醸成事業	△	1年延期となった東京2020大会の機運を再び高めることを目的に、機運再醸成コンテンツの制作や祝祭感の演出を図った。新型コロナウイルス感染症のまん延により一部は計画通り実施できなかったが、市民の関心を高めることができた。
② 東京2020大会レガシー創出事業	△	東京2020大会を契機に市内団体等と協働し狭山市やゴルフ競技をPRする冊子や動画を制作した。新型コロナウイルス感染症のまん延により一部は計画通りに実施できなかったが、市民の大会への関心を高めることができ、レガシー創出を図ることができた。
③		
④		
⑤		
⑥		

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	大会情報や市のオリンピックに関連した取組を逐一狭山市オリンピック準備室公式ツイッターで発信した。1ツイート当たりのインプレッション数は昨年度とほぼ同等であった（R1年度約2,242、R2年度約2118）ことから、大会や開催会場としてのPR機会を設けることができ、機運の再醸成やレガシー創出を図ることができた。
実施事業について 成果が不十分である点	新型コロナウイルス感染症のまん延により、当初の想定に比べツイッターの発信対象となる取組の実施数が減少した（ツイート数：R1年度161、R2年度59）ことから、総インプレッション数が目標に届かなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	各種取組をコロナ禍においても計画通り実施できるような内容に改善し、大会や開催会場としてのPR、レガシー創出につなげていく。